

令和6年度 上島幼稚園 自己評価結果公表シート

1、本園の教育方針・目標

生活体験の中心である「あそび」は心身の調和のとれた発達の基礎を培う学習です。私たちは子どもたちが主体的に遊びを展開し、豊富に様々な体験を積み重ねることを重要と考えています。上島幼稚園は幼稚園教育要領を基に「健康な体」と「豊かな心」を持つ心身ともにバランスのとれた人間としての基礎づくりを目指しています。

- ・健康で明るくたくましい子ども
- ・友だちと仲良く遊べる子ども
- ・心情豊かな子ども
- ・自分で考えて行動できる子ども

2、本年度の年間目標

年間目標：豊かな発想！豊かな表現！

満3歳目標：園生活を楽しみながら、安定した気持ちで過ごす。

年少目標：園生活に慣れ、友達や教師と楽しく遊ぶ。

年中目標：教師や友達の思いに触れ合い、意欲的に楽しく表現する。

年長目標：友達と思いを伝えあいながら、協力して遊びや生活を作り出す。

3、評価項目の取組と評価

※自己評価は6項目に分かれ、各項目の設問を教員が解答しています。課題と

※評価期間は本年度4～11月及び前年度12～3月とします。

※自己評価の評価ポイントは各項目及び設問<良い：3・普通：2・不十分：1>の平均ポイントです。評価は最高3点～最低1点で記載しています。

※学校関係者評価のポイントは各項目の取組と自己評価の<良い：3・普通：2・不十分：1>の評価です。評価点は評価委員の平均点です。最高3点～最低1点で記載しています。

項目	取組	自己評価	学校関係者評価	学校関係者意見
保育の計画性	園の教育方針・教育目標・年間目標に基づき、教育課程を編成し、年度当初の職員会議にて、共通理解を行う。期案を作成・反省し、保育・教育の実践に取組んでいる。また、園児一人ひとりの年間の個人目標を教師が設定し、子どもの様々な培いへの援助を促進している。	2.1	2.7	・先生が子ども一人ひとりに目標が達成できるように援助出来ていると思う。 ・子どもが個々の目標を持つてのびのびと過ごせている。 ・子ども一人ひとりに向き合ってかかわってくださっているのが伝わる。
保育のあり方 ・ 子どもへの対応	主任者会議、学年会議、職員会議を定期的に行い、教育計画・保育計画を実践する。園児一人ひとりの発達・動向も各会議で報告・検討し、全教員が共通理解のうえ、子どもの実態に合わせた保育・援助を心掛けている。また、特別支援児への個別援助（各機関との連携）を実践している。	2.5	2.8	・先生同士、話し合い継続し合っている。 ・教員の方々の保育に対する真摯な取組みが高い自己評価にあらわれているのと思います。更なる充実のため、今後の課題と取組みが今後に生かされるよう期待しています。 ・学年ごとに子ども達の成長に応じてしっかり対応してくれている。 ・子どもの出席状況から、様子まで園全体で共有してくれているなど日頃から感じます。
保育者としての能力や良識	ヒヤリハットの活用。自己評価により保育者としての能力や良識を各教職員が反省し、自己の見直しによる改善努力を行っている。	2.5	2.3	・様々な災害が多発している近年。より危機感を持って取り組んで欲しい。
保護者への対応	園の様子の発信として、園便り・学年便り・Xの活用での発信・HPの行事画像の更新等を定期的実施する。また、担任との連絡帳での対応の他、学期毎の個人面談を基本に、保護者の希望により常時面談する機会を設け関わりを深めている。	2.5	2.9	・保護者との関わりも難しい部分も有ると思う。互いの思いを伝える事は大切ですね。 ・園だよりを通じて一人ひとりしっかり見ていてくれると感じる。 ・毎月の様子が見られたり、小まめに発信して頂けるのはとてもありがたいです。 ・先生方がとても丁寧に連絡帳を記入してくれて、子どもの様子が良くわかります。毎日Xも発信してくれて有難いです。

地域の自然や社会との関わり	消防署見学・聴覚特別支援学校交流を実施。また、小学生の地域探検・中学生の体験学習・教育実習生の受入れを行う。地域の保幼小中連絡会にて連携を行う。青少年の家での園外保育実施。	1.8	2	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の保育の中で様々な体験を積める機会は大切。大変ですがよろしく願います。 ・毎回、色々な体験ができるので、子ども達が楽しみにしている。 ・自然との関わりについて、園外保育実施により触れ合う機会を作っていただいているが、園庭に大木（木陰で休める位の）が1本あると良いと思った。 ・園外保育を子どもがとても楽しみにしているので、大変かと思いますが色々連れてってくれるとうれしいです。 ・近所の公園など散歩や遊びに出掛ける体験をさせて欲しい。 ・年長児が上島小に学校探検をしに行けると就学への期待が高まると思いました。 ・入園時は、お散歩がないのか、泥んこ遊びがないのかと、まさに「自然」が少ないと感じましたが、慣れました。のちに青少年自然の家に行くんだと驚きました。
研修と研究	通常の研修会の他、ハイブリット研修、リモート研修会と研修が多様なスタイルになる。静岡県私立幼稚園協会・浜松市私立幼稚園協会の教員研修会等に参加する。	1.9	2.1	
その他の意見	/			<ul style="list-style-type: none"> ・保育の中でお店屋さんごっこなど、子ども達がごっこ遊びを楽しめる時間があるといいなと思います。 ・入園前から外遊具の綺麗さなど、きちんとしている印象の園ですが、今もその印象は変わっていません。 ・耐震は正直心配していましたが、お話を聞いて安心しました。 ・いかに保護者の負担が少ないかを、合理的に考えてくれているので感謝しています。

4、自己評価のまとめ

<反省点・改善点より抜粋>

- ・いろいろな先生にも相談し、いいアイデアがでてくるようにしたい。
- ・1ヶ月分の計画を早めに立て、満3歳児の活動とすりあわせをすることができました。細かい点は直前になり変更することもあったので、見直しを持って行くべきでした。
- ・動きの分からない先生にしっかり指示・指導ができるようにしていく。
- ・健康に気を付けて過ごしていく。

<教育活動の新しいアイデアより抜粋>

- ・地域の交流として地域の年配者に昔の遊びを教えてもらう。
- ・集団遊び等のアイデアを皆で出し合ったり、意見を話し合う場を設け「上島幼稚園のあそび」として共通で理解するのはどうか。
- ・芝生の園庭でお弁当を食べる機会を増やす。
- ・子ども達が好きな廃材や折り紙、画用紙、テープなど好きなように使い、作りたい物を自由に作る遊びもいかなと思う。
- ・作品展に、毎月やっている月の制作中から、子ども達が一番見てもらい作品を飾るなど、普段の作品も飾るようにしたい。

<評価項目について>

- ・各教員の経験年数や自身への評価の視点により自己評価の違いがうかがえます。上記の改善点やアイデアでは各教員の意見、自己改革等が他にも多く挙げられています。これらの意識を子ども達への保育に向けていきたいと思いません。

5、今後の課題と取組み

課題	取組
保育の計画性について	園児数減に対応した保育計画の見直し検討・実施をする。
研修と研究	前年度と同様に静岡県私立幼稚園振興協会や浜松市私立幼稚園協会の各研修・研究に積極的に参加して研鑽を積む。職員会議にて園で起きたヒヤリハットの事例を検証し、日々の保育に生かす。
防災	引続き園の防災体制について、繰り返し確認を行う。園児の安全確保のため、マニュアルを再確認する。
地域の自然や社会との関わり	小中学生の体験学習、教育実習生等の受け入れを積極的に行い、地域社会と園児の関りを増やす。また、こども館、青少年の家での園外保育を継続する。